

協会創立50周年記念特別号



三田市文化協会報



令和2年9月発行 会報編集委員会

〒669-1533 三田市駅前町2番1号キッピーモール6F(文化協会事務所)
TEL & FAX 079-559-0404
ホームページ 三田市文化協会 E-mail s-bunka0404@clear.ocn.ne.jp

三田市文化協会創立五十周年

会報紙



記念特別号

「湧」～三田市文化協会創立50周年記念特別号～

【目次】

- 1 ページ ご挨拶 三田市文化協会長 山口武宏
- 2 ページ お祝いのことば 三 田 市 長 森 哲男
- 3 ページ お祝いのことば 兵庫県阪神北県民局長 坂本哲也
- 4 ページ～ 特別感謝状贈呈者（寄稿）
三好正典・若森京子・柴田良子の各氏
- 5 ページ 歴代さつき賞受賞者名（併、くすのき賞・ともしびの賞）
- 6 ページ～ 特別寄稿：田辺真人氏
「協会半世紀の成果のうえに」
- 8 ページ～ 文化協会～近年の「特別事業」
- 10 ページ～ 文化協会50年の歩み(要約)
- 14 ページ～ 加盟団体「周年行事」の紹介（投稿の18団体）
- 14P 三田市音楽協会・三田吟剣詩舞連盟
- 15P 三田舞踊協会・三田小唄保存会
- 16P 関口バレエスクール・FDCフレンドリー
- 17P 上月バレエスクール・岡田琴千流大正琴三田ルピナス
- 18P 花柳社中・御殿踊り保存会
- 19P 花柳流伊奈輔会・千翔流有峰会
- 20P 民謡あけみ会・三邦会
- 21P 三田歌謡カラオケ協会・三田音頭会
- 22P 茶道裏千家慶友会・三田水墨画同好会
- 23 ページ 文化協会加盟団体・組織名簿（令和2年4月1日現在）
- 24 ページ 歴代会長・副会長名簿（平成14年以降）
- 25 ページ 文化協会ロゴ・マーク紹介
- 26 ページ 奥付

ご挨拶

三田市文化協会会長 山口 武宏



三田市文化協会は三田市の肝入りで万博が開催された昭和四十五年に発足し今年目出度く五十周年を迎えることになりました。

この間三田市を始め関係各位には絶大なるご支援とご尽力を頂きましたこと改めて心からお礼と感謝を申し上げます。

発足の経緯もあり十年間は三田市長(赤尾市長、岡崎市長)が会長を務めてこられました。が、十一年目からは所属団体の中から会長が選ばれるようになり現在に至っております。

この五十年の間、会長は十人就任されていますが私は記念すべき十人目の会長ということになりました。歴代会長にはこれまでのご尽力に対して改めて厚くお礼申し上げます。

三田市文化協会は昭和四十五年から平成十九年までの三十七年間三田市役所内に事務局を置き、事務局機能を三田市役所に委ねてきました。が、平成二十年からは事務局も事務局機能も三田市役所から独立することになり、未熟ながら

も自主的な運営を行ってきました。この間文化協会には事務局を置く安定した事務所がなく、活動の障害となつて今も大きな悩みとなつております。

三田市文化協会は現在三十七団体あり、多世代に亘る約三千人で構成されており三田市の文化を支えている重要な市民団体としての責務を担っております。

さて三田市では、昨年十二月に三田市文化ビジョン検討委員会が発足しました。この委員会は、今後十年間(令和三年～十二年)の三田市の文化芸術施策の基本的な方向を決定するための重要な委員会であり、令和三年六月に答申することになっております。

文化ビジョン検討の基本目標は「個性あふれる地域文化の継承と振興を通じて元氣な成熟と共生のまちを共創すること」であります。

三田市文化協会は、令和三年二月に答申されるこの文化ビジョンを基本にして、文化協会に所属する団体だけでなく、和と洋、伝統文化を含めた三田全体の更なる文

化の維持、発展に寄与したいと願っております。

宝塚市、川西市、伊丹市には文化財団がありますが三田市にはその組織が無く、従つてそれを補うためにも三田市役所、郷の音ホール指定管理者、文化協会などの市民団体の3つがトライアングルで推進する強い体制が求められます。特に文化ビジョンを実現するためには三田市役所の力強いリーダーシップが求められます。

新型コロナウイルス感染症による文化活動の疲弊が懸念されますが、文化活動は、健康、福祉、教育等と並んで市民が元氣に充実した人生を送るための重要な要素のひとつであり、その意味で文化協会が今後果たすべき役割は大変大きいと認識しております。

三田市文化協会は三田市民の温かい支援がなければ維持発展することは困難であり、その意味で、今後とも関係各位と三田市民の温かい応援とご支援を切にお願い申し上げます。

創立50周年を祝して



三田市長
森 哲男

三田市文化協会の創立五十周年を心からお祝い申し上げます。

昭和四十五年の設立以来、皆さま方のたゆまぬ活動により、現在では、三田市の文化振興を担う団体として、音楽、舞踊、絵画、写真をはじめとする幅広いジャンルの三十七団体、総勢三千名を擁する市民文化の連合体へと成長を遂げておられます。貴協会は、三田市民文化祭での舞台発表や展示発表、舞踊祭、伝統芸能祭

などの開催を通じて、市民の皆さんに裾野の広い、さまざまな文化芸術に触れる場を提供していただいておりますことに深く敬意を表する次第です。

現在、三田市におきましては、個性あふれる地域文化の継承と振興を目指す、「三田市文化ビジョン」の策定に向けて取り組んでいるところです。市民の主體的な創作文化活動の中核的な団体として、貴協会がこの五十年の間に培われてこられ

た経験と豊富な知識は、将来の芸術文化振興の基盤になると考えております。今後とも成熟のまちにふさわしい文化芸術の振興に対する貴協会の引き続きのご活躍を願ってやまみません。

最後になりましたが、三田市文化協会の益々のご発展と会員の皆さまのご健勝でのご活躍を心よりお祈りしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



兵庫県阪神北県民局長 坂本 哲也

三田市文化協会が創立五十周年という記念すべき年を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。

貴協会は、これまで舞踊・音楽・写真・美術などの多岐にわたるジャンルにおいて、関係団体グループや地域の皆様と連携しながら多彩な市民文化の創造に寄与されてきました。

また、市民文化祭を毎年開催されるなど、市民の心を豊かにし、生活に

潤いを与えてこられたことに心から敬意を表します。

また、貴協会には、昭和四十五年に創立されて以来、歴代の会長をはじめ関係者の皆様から、本県の文化行政にご理解・ご協力を頂いており、厚くお礼申し上げます。

兵庫県阪神北県民局では、今もなお阪神間モダンリズムが息づくこの地域の特性を活かし、アートな暮らしが賑わう活力あるまちづくりを目指して

参ります。

貴協会の活動がさらに充実され、阪神地域の文化振興にご活躍されることを期待しますとともに、今後とも、多岐にご協力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このたびの五十周年を契機に、貴協会の更なるご発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。

50周年記念特別感謝状



若森 京子 氏

俳句協会 若森京子
三田市文化協会五十周年おめでとうございます。この度俳句協会代表として表彰して下さい、大変嬉しく光栄に思っております。

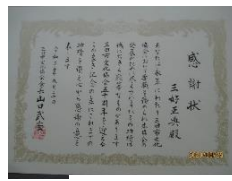
長い間、文化協会常任理事として三田市の文化活動の発展を身をもって感じ、色々な事を学ばせて頂きました。特に阪神淡路大震災の時は、人間にとっての文化の大切さ、その文化は人と人との絆が根底に流れている事を痛切に教えられました。

俳句協会は二年前に五十周年を迎え私は三代目の会長として歴史を辿ってきました。

現在の新型コロナの自粛生活になっても、通信句会が出来ますし、四ヶ月の入院生活を経験しましたが、ベッドの上で作句、原稿書き、又毎日新聞選者、他の大会の選者も続ける事が出来ました。本当に俳句の有り難さをつくづく思っている次第です。今回の受賞を励みに、これからも五七五の最短詩型に寄り添って余生を送るつもりです。

『晩節の澱は静かに水芭蕉 京子』

50周年記念特別感謝状



三好 正典 氏

文化協会50周年おめでとうございます。昭和43年教育委員会主催で市民の文化意欲で文化の祭典が催され、2年後市長が会長で文化協会が創設され、以後市と市民の努力で50年、幼年から高齢者3千人の会員が人生の活力を目指して継承されています。私は中学時代にブラスバンド部でクラリネット、サクソを、会社時代はベンチャーズスタイルのバンドを組みドラムを、他コーラス、謡曲を、地元で三味線を、現在は能の笛、太鼓、日本舞踊を習っています。昭和58年に三田の謡曲部に入り色々な経験から、文化協会の理事を頼まれ、平成12年に常任理事16年に副会長20年に会長に任命され31年に会長を降りるまで協会を守ってきました。市民文化祭、月見の夕べには自ら舞踊に出演、伝統芸能を次世代に継承を目指し子供文化フェスタや特別公演を実施、三田小唄の保存の為保存会を設立、三田小唄保存会会長に、阪神北文化振興団体連絡協議会の会長を務め色々経験させてもらいました。無事勤められたのは協会役員や会員の皆様の協力によるものと感謝しております。今後も協会が益々発展されることを影ながら支えたいと思います。

歴代「さつき賞」受賞者

(敬称略)

- 平成12年 内田史子(音楽協会)
平成14年 若森京子(俳句協会)
平成16年 柴田良子(花柳社中)
平成17年 亀井幸南(茶華道協会)
平成18年 足立 久(彫刻苦楽部)
平成18年 内 絹江(書作家連盟)
平成19年 三好正典(謡曲連合)
平成19年 東田るい(書作家連盟)
平成21年 山口武宏(音楽協会)
平成22年 福江 勉(美術協会)
平成23年 林 靖(水墨画同好会)
平成24年 北野哲男(川柳協会)
平成27年 松尾裕美(きりえフォーラム)
平成28年 高山 清(音楽協会)
平成29年 的場明美(民謡あけみ会)
平成30年 三田女声コーラス

【兵庫県くすのき賞】受賞者

- 平成22年 三田小唄保存会

【兵庫県ともしびの賞】受賞者

～三田市文化協会推薦分～ (敬称略)

- 平成25年 三田村加津子(フォークダンス協会)
平成27年 御殿踊り保存会
平成28年 柴田良子(花柳社中)
平成29年 足立紫颯(吟剣詩舞連盟)

50周年記念特別感謝状



柴田 良子 氏

「光陰矢の如し」 アツという間の五十年でした。

先代師匠花柳絹富久の元で文化祭の舞台に出演していた私が、いつしか弟子達を出演させる立場になり、おこがまし乍ら三田の文化の一翼を担う心意気で精進してまいりました。こうして長く続けてこられたのも文化協会の皆様との素晴らしい出逢いがあったればこそ……

人との出逢い、人との繋がりの大切さをひしひしと感じ入りました。

恵まれた環境の中で歩いてこれた事を心から嬉しく思っております。関わって下さった全ての人に感謝・感謝です。

「協会半世紀の成果のうえに」

園田学園女子大学名誉教授

ところで1970年の生活統計を振り返りますと全自動洗濯機もビデオテープも0%、カラーテレビは4軒に1台、エアコンは20軒に1機、勿論パソコンも携帯電話も夢のまた夢でした。

こう考えますと先人が創設された協会を受け継いだ我々は激変する社会や生活に順応できる組織へと発展させていかねばなりません。

加えて三田という地域の特色に対応できる個性を育てていかなければならないでしょう。

三田の歴史的文化の特色のひとつが城下町だと思います。

50年の節目にこのようなことを踏まえてより広い三田市民の参加を得て50年後の人々に誇れる協会を作り上げていきましょう。





特別寄稿

田辺真人

今年50周年を迎える三田市文化協会が創設されたのは千里丘陵で万国博覧会が開かれた1970年(昭和45年)のことでした。

6年前に東京でオリンピックがあり東海道新幹線が開業しています。

高度経済成長が一段落して日本人の生活が豊かになり始めていました。

この時期に心の豊かさを求め芸術、文化の振興を願う機が熟して当協会が誕生したわけです。

街の特色を形作るのに**3つの要素**—自然の景観と文化の蓄積と**情報の発信**—があるという考えがあります。



平成22年

能 船弁慶

文化協会40周年記念

三田市文化協会40周年記念公演として能が見たいという声が多くあり、三田謡曲連合真謡会指導者、分林道治氏による能の鑑賞をおこなった。義経役には会員である7歳梶原大暉君が出演した。演目は有名な船弁慶で前半の静御前と義経の別れ、後半は義経と武蔵坊弁慶が平家の亡霊たちとの海戦の様子を表現している。



平成29年

浪曲公演 春野恵子

文化協会特別事業として、昔懐かしい浪曲とはこんなもので有ると身近に広く市民に知ってもらおうべく女性曲師をお招きした。

春野恵子は東京大学を卒業しテレビ番組「電波少年」で家庭教師ケイコ先生として出演、平成15年に浪曲師2代目春野百合子に弟子入りして修行を重ね平成18年に初舞台を踏んだ。現在全国各地で年間200回の浪曲公演をこなしながらテレビやラジオ、舞台演劇、音楽ライブに出演している。

平成26年にはニューヨークで公演を成功させ、以降も中国、ドイツ、イタリア、ブラジル等海外公演活動も積極的に行っている。

今回三田での浪曲公演はユニークな語り口調と、ユーモアたっぷりの楽しめる浪曲であった。



令和元年

第4回お神楽鑑賞会 日本遺産認定 石見神楽

島根県浜田市後野神楽社中 約30名 演目：神楽 鏡山 恵比須 大蛇

平成21年に始めて島根県から有名な石見神楽をお呼びし、三田の神楽とコラボし大ホールを満席にしました。市民の皆さんに好評でこの年4回目の神楽を実施しました。

石見神楽は優雅な六調子と非常に激しい八調子があり、後野神楽社中は八調子神楽、約30種目を伝承しています。郷土を愛する信念と堅実なチームワークにより近隣の祭礼奉、島根県内外の各種イベントに参加しています。

最後の演目「大蛇」(おろち)は石見神楽の代名詞とも言うべき演目で須佐之男命が大蛇退治をするそのスケールの大きさには圧倒されます。



平成21年

ハンガリー プロムジカ女声合唱団

文化協会40周年記念イベント

ハンガリーのプロムジカ女声合唱団はニレジハーザー市のコーダイ小学校を卒業生で合唱を続けたいと集まった高校生、大学生の少女たちの合唱団である。

1986年(昭和61年)に創立され指揮者デーネシュ・サボー氏のもとでヨーロッパで活躍しており、真珠のように美しい声とアンサンブルは聴く人たちに深い感銘を与えてくれます。

初めて来日したのは17年前(平成4年)ですが今回は横浜開港150年記念行事として来日され三田公演が実現したものである。



ハンガリー

平成24年

能勢人形浄瑠璃 鹿角座

演目：能勢三番叟 傾城阿波の鳴門 日高川入相花王

淡路の人形浄瑠璃は良く聞かれるが、能勢町に人形浄瑠璃鹿角座があり、特別事業として交渉の結果気持ちよく引き受けて頂き、地元で見れる人形浄瑠璃に市民の皆さんは感動しました。

能勢人形浄瑠璃角鹿座は能勢町にあった語りと三味線だけで演じられる素浄瑠璃として、200年もの間地域に親しまれている郷土芸能(能勢浄瑠璃)があり、これを確固とするために、平成18年に能勢人形浄瑠璃「鹿角座」(ろっかくざ)を旗揚げし、年2回の公演と30回程度の依頼を受けて公演されている。今回は上記3つの演目について公演された。



三田市文化協会特別事業(三田市芸術文化振興助成)
人形浄瑠璃三田公演2012年2月25日(土)14時開演(13:30分開場)
三田市総合文化センター郷の音大ホール 入場料1,300円(東日本大震災支援金込み)【自由席】

令和元年

さんだ伝統芸能祭 文化協会50周年記念イベント

文化協会に所属する伝統芸能を愛好する団体が結集した

三田市文化協会創立50周年のプレとして、協会に加入の和の団体ばかりによる発表と吟剣詩舞連盟による企画番組のほか、オープニングの御殿踊りでは、山口文化協会長が九鬼の殿さまとして出演し会場を沸かした。

多彩な和の文化を披露した初の「さんだ伝統芸能祭」のプログラムは以下のとおり厳かに華やかに進められた。

- 1部 オープニング
- 2部 令和新時代を寿ぐ
- 3部 青少年コーナー 有馬高校箏曲部ほか
- 4部 企画構成番組「万葉へのいざない」

令和元年
9/21(土)
【プログラム】

| | |
|---------------------------|-------|
| Ⅰ【オープニング】 12:00 開演(12:30) | |
| 会場とともに喜びを、御殿踊り、三田小唄 | |
| Ⅱ【発表の部】～令和時代を寿ぐ～ | |
| 御殿で歌おう!～鹿城の月～ | 12:40 |
| 劇大正琴 | 12:45 |
| 福氏舞・結太鼓 | 12:55 |
| 御新舞踊・歌謡 | 13:05 |
| 御時勢(自由) | 13:15 |
| 御日本舞踊 | 13:30 |
| 御邦楽(尺八、三味、十七曲) | 14:05 |
| 御城で唄おう!～三田音韻 | 14:30 |
| ～休憩～ | 14:45 |
| Ⅲ【青少年コーナー】 | |
| 有馬高校箏曲部、時勢、仕舞 | 15:10 |
| ～休憩～ | |
| Ⅳ【企画構成番組】 | |
| 毎月1回で実施(嵐初5分) | |
| 「万葉へのいざない」 | |

会場：三田市総合文化センター郷の音大ホール
入場料：1,300円(東日本大震災支援金込み)【自由席】

さんだ伝統芸能祭

多彩な和の文化の魅力をお楽しみください。

2020年 50th
三田市文化協会創立50周年記念イベント

三田市文化協会 事務局 三田 郷の音大ホール

三田市総合文化センター郷の音大ホール

郷の音大ホール付チケットセンター 電話079(559)8101

昭和45年

三田市文化協会設立

昭和46年

第4回三田市民文化祭

「展示催しの部」(11月3日～5日)

絵画・俳画・写真・書道・生花・盆栽・水石・婦人会展・老人会展

「文化発表の部」謡曲・俳句・短歌・吟詠

「舞台発表の部」邦楽・洋楽・洋舞・日舞・フォークダンス・郷土芸能・お茶席・菊花展

これより毎年開催

昭和52年

第10回市民文化祭

昭和54年

第1回かきぞめ大会

平成2年

第1回千丈寺湖月見の夕べ 青野ダム

水上ステージで舞台発表 記念館でお茶席

平成3年

三田市文化協会20周年記念事業

各グループの指導者による舞台発表・お茶席



千丈寺湖 月見の夕べ



中野慶理・遠藤和美ミニリサイタル



20周年記念事業
中野慶理ミニリサイタル



チャリティアートバザール

平成4年

チャリティアートバザール

平成6年

市民が選ぶグッドデザイン賞

三田村加津子フォークダンス協会代表がさつき賞受賞

私の宝物展



けやき台のレストラン
「ぶどうの樹」

平成7年

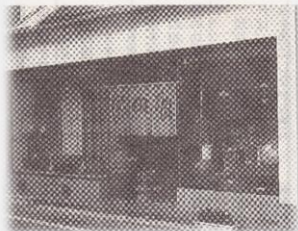
堺好昭音楽協会会長がさつき賞受賞

平成8年

三田市文化協会25周年記念事業

日本・モンゴル友好の夕べ オユナは歌う

前野博短歌協会代表がさつき賞受賞



三田美術骨董商
「浪田屋」



こばと保育園



25周年記念事業
日本・モンゴル友好の夕べ

平成9年 三田舞踊祭 日舞・民俗舞踊・洋舞の競演

西田保吟剣詩舞連盟代表がさつき賞受賞

平成10年

酒蔵と俳諧の文化を持つ町伊丹

常任理事で「いたみホール」見学

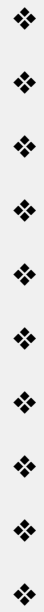


役員で伊丹ホール見学



三田舞踊祭
日舞・民俗舞・洋舞

（設立から30年間の詳細は「30周年記念誌」に掲載しています）



平成12年

内田史子音楽協会代表がさつき賞受賞

平成13年

三田市文化協会創立30周年記念誌発行

芸術文化振興助成が三田市で新設

第12回月見の夕べ実施 9月29日

カナダのアクロバティックサーカス公演開催（市民会館）

（11月9日）

平成14年2月23日

若森京子俳句協会代表がさつき賞受賞

阪神北地域文化交流つどいを三田福祉保健センターで実施

第13回月見の夕べ実施（9月22日）

平成15年



30周年記念誌

大野巳喜男絵画協会代表が文化賞受賞

第14回月見の夕べ実施（9月13日）

平成16年

柴田良子花柳社中代表がさつき賞受賞

伝統芸能のつどいを三田屋本店有馬能楽堂で開催（5月）

第15回月見の夕べ実施（9月25日）

第16回兵庫のまつりふれあいの祭典で俳句大会が実施された

（フラワータウン市民センター）（11月14日）

平成17年

亀井幸甫茶華道協会代表がさつき賞受賞

三田小唄保存会設立（9月2日）

第16回月見の夕べ実施（9月17日）

平成18年

足立久彫刻苦楽部代表がさつき賞受賞

内絹江書作家連盟代表がさつき賞受賞

第17回月見の夕べ実施（9月9日）

平成19年

三好正典謡曲連合代表がさつき賞受賞

東田るい書作家連盟代表がさつき賞受賞

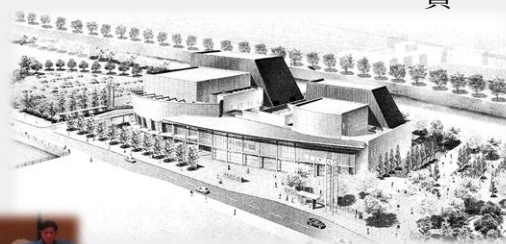
総合文化センター郷の音ホールオープン（7月1日）

太鼓表現師時勝矢一路 花柳社中竣工記念公演実施

第18回月見の夕べ実施（9月29日）

兵庫のまつりふれあいの祭典で川柳祭が郷の音小ホールで実施

（12月2日）



総合文化センター
郷の音ホールオープン

竣工記念 花柳社中



市民文化祭
三田小唄

平成20年
文化協会 市より独立、組織変更、
新会長に三好正典就任

平成21年

山口武宏音楽協会代表がさつき賞受賞
文化協会40周年プレ公演として、

ハンガリープロムジカ実施(7月4日)

第19回月見の夕べ実施(9月5日)

特別事業として第1回お神楽鑑賞会開催(12月7日)



お神楽鑑賞会



三田小唄(神戸まつり)



ハンガリープロムジカ合唱団

平成22年
三田小唄保存会が兵庫県くすのき賞受賞
福江勉美術協会代表がさつき賞受賞
文化協会40周年に文化協会ロゴマーク制定、別掲

40周年記念「能」開催(7月10日) 別掲
第20回月見の夕べ実施(9月25日)

兵庫のまつりふれあいの祭典の内、北摂フェスティバルが
有馬富士公園で実施され、同時に

HANKITAこどもフェスタを開催(10月16日・17日)

平成23年

林靖水墨画同好会代表がさつき賞受賞
三好正典会長が兵庫県自治賞受賞

兵庫県地域文化を考えるシンポジウムを三田ホテルで開催
(10月16日・17日)

平成24年

的場明美民謡あけみ会代表が秋田船方節

全国大会で内閣総理大臣賞受賞

北野哲男川柳協会代表がさつき賞受賞

MIKIOIフラ・サークル新規入会

郷土芸能協会(御殿踊り)新規入会

三好正典会長が阪神北地域振興連絡協議会会長就任

特別事業人形浄瑠璃公演実施(2月25日)

第21回月見の夕べ実施(9月1日)

平成25年

三田村加津子フォークダンス協会代表が兵庫県ともしび賞受賞

遠藤和美(Jフォス)が文化賞受賞

第2回お神楽鑑賞会開催(7月14日)

第1回さくら子供フェスタ実施(11月23日)



こどもフェスタ



平成26年

三邦会・茶道裏千家慶友会新規入会
第22回月見の夕べ実施（9月7日）

ふれあいの祭典、ひょうご吟剣詩舞道祭

郷の音ホールで開催（10月12日）

平成27年

三田小唄保存会10周年記念

「新三田小唄」完成

松尾裕美きりえフォーラム代表がさつき賞受賞

御殿踊り保存会が兵庫県ともしび賞受賞

小中公平少年少女合唱団代表が兵庫県青少年本部表彰

デジタルカメラ散歩の会・アメリカンシャドーボックスアート

クラブ新規入会

ひょうご邦楽の祭典 郷の音ホールで開催（10月14日）

HANKITAこどもフェスタ

三田福祉センターで実施（11月7日）

文化協会45周年記念特別事業

第3回お神楽鑑賞会開催（12月6日）

平成28年

三好正典会長が兵庫県地域活動功労者受賞

柴田良子花柳社中代表が兵庫県ともしび賞受賞

高山清音楽協会代表がさつき賞受賞

第23回月見の夕べ実施（9月11日）



「新三田小唄」完成 ひょうご吟剣詩舞道祭

平成29年

的場明美民謡あけみ会代表がさつき賞受賞

足立紫颯吟剣詩舞連盟代表が兵庫県ともしび賞受賞

前仁司貴志田楽代表が兵庫県ふるさと文化賞受賞

三田市民文化祭50周年記念事業実施

三田市民文化祭50周年記念

平成30年

三田女声コーラスがさつき賞受賞

第24回月見の夕べ実施（9月24日）

令和元年

山口武宏が会長に就任

50周年イベント「伝統芸能祭」

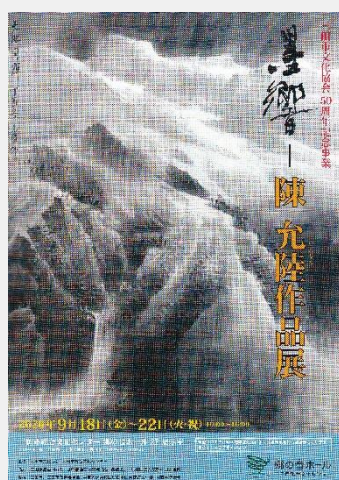
令和2年

文化協会50周年記念行事

記念式典（9月20日）郷の音ホール小ホール

記念講演会「陳允陸の水墨画の世界」同右

記念事業「墨響―陳允陸作品展」（9月18日～22日）同右



陳 允陸作品展



三田女声コーラス(さつき賞)

【音楽協会の周年事業の紹介】

音楽協会は昭和51年に発足し今年で44年を迎えます。
この間35周年と40周年に記念の周年事業を開催しましたのでその内容をご紹介します。
尚、音楽協会は合唱関係24団体、吹奏楽関係19団体、オーケストラ関係4団体
合計47団体で構成されており人員は約1600名となっています。

■ 35周年記念「三田市音楽協会合同音楽祭」 ～三田市から祈りと復興を音楽にのせて～ 平成23年09月10日(土) 郷の音ホール・大ホール

音楽協会に所属する合唱、吹奏楽、オーケストラなど12団体が演奏した。最後に昭和63年に作られた三田市の歌・三田(まち)が翔びたつを会場のお客様と一緒に大合唱した。
* 東日本大震災の義援金を募り、かまいし第九の会に寄付した。

■ 40周年記念「三田市音楽協会記念音楽会」 平成28年09月10日(土) 郷の音ホール・大ホール

音楽協会に所属する団体が参加して合唱の合同演奏に取り組んだ。
・混声合唱組曲「ファンタジア・四季」
～吹奏楽と合唱と箏のための～
・混声合唱組曲「筑後川」
* 九州北部水害の義援金を募り九州の「團伊玖磨さんの音楽を楽しむ会」に寄付した。



三田市音楽協会

待望の「連盟創立35周年記念大会」が快晴の好天に恵まれ、11月12日(土)郷の音ホール小ホールで開催されました。

第一部は68名の会員吟詠を実施。続く記念式典は、兵庫県連会長山岡哲山先生はじめ、近隣各市より各連盟会長にご臨席いただき、厳粛な中にも和やかに進行。

また、創生期から連盟運営等にご尽力いただいた四団体への感謝状贈呈、永年会員・高齢者表彰、そして記念事業発表と全ての式典次第が終了しました。続いて、記念特別企画の披露、来賓吟詠と続き、最後は第三部企画構成番組で締め括りました。

三田吟剣詩舞連盟創立35周年記念大会

平成28年11月12日(土)

第1部：会員吟詠発表 第2部記念式典

第3部：企画構成番組「三田人物誌～その時、日本は」
(於) 三田市総合文化センター郷の音ホール小ホール

創立35周年記念式典



三田吟剣詩舞連盟

三田舞踊協会

平成8年に三田新舞踊協会が結成され、当初15団体、約160名の会員で発足しました。以後グループごとにそれぞれの練習場所で、日舞、新舞踊、民踊民舞等の稽古に励んでいます。

一年を通じて市内の各種イベントに参加していますが、三田市民文化祭の一環として行われる「三田新舞踊祭」は、私達の最大行事となっています。

そして令和元年度より名称を「三田舞踊協会」と改め、より幅広くいろいろな分野の舞踊を見ていただけるよう頑張っています。

【加盟団体】千翔流花扇会、山村流夢扇会、花柳流月の会、藤間流ふじ紫会、深山流深鷺会、藤間流壺の会、山吹流美樹の会、若柳流芳扇会、三田舞踊同好会、若柳流さざんかの会、山吹流鈴の会～新会員を募集中です。



三田小唄保存会



三田小唄保存会10周年 神戸まつりにて新三田小唄初披露

昭和32年10月に市の発案により三田小唄が誕生し様々な行事に出演して来ましたが、更なる普及、継承を目指し、平成17年9月に保存会を設立。平成27年に10周年を期に新たに、新三田小唄を我々の手で作り、初めて神戸まつりに披露しました。以後各催し参加時には、三田小唄と共に新三田小唄も踊り市民の皆さまに親しまれています。

※ 冬はヨイヨイ 国際マラソンマスターズ
三田のまちを走ります
おもしろい空気でおもてなし
からだく雪も温泉で
ちたつぽっこり出来るまち

※ 秋はヨイヨイ 味覚の王様勢揃い
お米 湖茸 三田肉
千丈寺 月見かな
連なる山の錦秋の
豊かな自然が包むまち

※ 夏はヨイヨイ 夜空に開く 大花火
みどりに光るは盆踊り
水辺に光るは盆踊り
目に鮮やかな新緑の
香りが心を癒やすまち

※ 春はヨイヨイ 桜回廊 武庫の川
わらじウオークで山菜を
カエルの合唱田植えかな
雨に映えるは花菖蒲
あじさい見事な花のまち
※ ソレ さんだ 来てみてさんだ
さんだ小唄で踊りましょう

新三田小唄

作詞 今村琴美
作曲 三好正典
振付 花柳絹佐喜

三田小唄10周年記念曲

関ロバレエスクール



35周年記念 関ロバレエスクール クリスマスコンサート

2019.12.14(土) 三田市総合文化センター
郷の音ホール大ホール

F.D.Cフレンドリー

F.D.Cフレンドリー

代表 喜多光子
指導者 廣嶋貴恵

文化協会50周年おめでとうございます

私たちフォークダンスクラブも45年を過ぎました。ダンス大好きな人が集まり楽しく踊っています。もちろん健康とボケないようにしたいから…。



あじさいパーティー (令和2年6月)
市内フォークダンスクラブ
18歳未満
カップル
オリーブ
クローバー
フレンドリー



兵庫県民の集い
(令和2年3月)



クリスマスパーティー (令和元年12月)

□ 上月みのりバレエスクール

上月みのりバレエスクールは、昭和47年から三田市文化協会に入らせて頂き、毎年欠かさず文化祭、子供文化フェスタに参加しています。二年に一度は郷の音大ホールにてバレエ作品を発表し、この舞台のない年は、規模を小さくし勉強会を行っています。

バレエの基礎を通して健康的な身体作りを提案し、バレエが情操教育において心の豊かさを育む一助となるようレッスンに励んでおります。令和3年50周年の舞台を予定しておりましたが、コロナの影響で令和4年に50周年記念の発表会を開催する予定です。



上月みのりバレエスクール 48周年バレエ公演 2019.6.30 於:郷の音ホール/大ホール photo:MuGen

皆様のご支援と応援をよろしくお願い申し上げます。

□ 岡田琴千流大正琴三田ルピナス

岡田琴千流大正琴三田ルピナス

10周年記念初弾会

令和3年1月16日(土)フラワータウン市民センターに於いて12時から開催いたします。

本部(滋賀県)から家元岡田琴千香先生はじめ先生方をお招きして演奏もご披露して頂けます。



また、ゲストに詩吟大師範の足立紫颯先生、詩舞家元の一ノ葉千穂先生をお迎えしておりますので、ひと時をお楽しみ頂ければと思っております。私たち会員一同は「大正琴の生の美しい音色」をお届け出来ます様に、そしてコロナウイルスが一日も早く終息することを願いつつ日々練習に励んでおります。皆様のご来場をお待ちしております。



郷の音ホール竣工記念発表会

花柳社中

三田市が待ち焦がれていた
『郷の音ホール・竣工』

お祝いの気持ちを込めて「花柳絹佐喜・水野真由美・美の世界」の舞台を務めさせていただきました。

ホールでは花柳社中の舞踊、ロビーでは画家水野真由美による絵画と二人で憧れ続けて来た正しく舞踊と絵画のコラボレーション、水野真由美さんとは、お互いに歩んだ道に違いはありましたが幼友達、この日の夢のために二人で精進してまいりました。

一生に一度しかないこの佳き日、私は生涯忘れる事が出来ません。

□ 花柳社中

郷土芸能 御殿踊り保存会



九鬼久隆 三田入部(寛永10年1634年)

笛、太鼓、鉦、三味線の賑やかな囃子につれて、踊り子は、男は袴、女は矢かすりの御殿女中風にて主君をお迎え 「御殿踊りの其のならわしは後の世までもこれ伝わる」と御殿音頭にもうたわれています。

毎年の市民文化祭に出演する他、過去には神戸まつり、吟剣詩舞連盟主催「九鬼藩、躍動」、千丈寺湖月見の夕べ、などに依頼があれば出演し、三田の郷土芸能の保存に努めております。

音頭、太鼓、尺八、三味線、の皆様のご協力により、より一層盛り上がり 又、稽古打合せなどで皆様との親睦を図ることが出来ます。

今後も活躍の場があれば積極的に参加させていただきます、後の世に伝え続けたいと願っております。

御殿踊り保存会代表 寛長 つや子



□ 御殿踊り保存会

□ 花柳流伊奈輔会



平成三十一年二月十一日 第十五回 花柳伊奈輔 凰月会 於 神戸文化大ホール

平成19年に三田市文化協会に入会させていただきました。

花柳伊奈輔先生（兵庫県舞踊文化協会理事）にご指導いただき、古典舞踊・新舞踊・創作舞踊・民踊・等幅広くお稽古しております。

毎年、11月3日の三田市文化祭の舞台発表では古典舞踊を披露させていただいております。

また、令和元年9月には「さんだ伝統芸能祭」にも参加し400年の歴史をもつ日本舞踊～令和新時代を愛でる曲を舞わせていただきました。同会は兵庫県内8会場にお稽古場があり、発表会は二年毎に神戸文化大ホールで開催しております。

□ 千翔流有峰会

千翔有峰

(せんしょうゆうほう)

昭和42年2月20日

大阪生まれ。

日舞花柳流に在籍していた母親(現千翔山照)から、若い頃より舞踊の手ほどきを受け、平成4年に千翔流を創流後、隔年にて国立文楽劇場にて発表会を開催、西川鯉右師に指導を仰ぎ、古典、創作舞踊の研鑽を深めながら自流派の発展につとめる。

(お問い合わせ先)

三好正典

090-3825-2154



千翔有峰家元の舞～平成30年「三田市民文化祭・新舞踊祭」





□民謡あけみ会

民謡あけみ会は、平成 11 年に発足し今年(令和 2 年)で 21 年目となりました。昨年の 20 回目の記念の発表会には、秋田民謡の大家である千葉美子先生をはじめ、秋田三味線全国大会優勝者や民謡全国大会優勝者をお招きし、盛大に開催しました。

今年は、コロナウイルスの関係で発表会は中止としましたが、日本の伝統芸能の民謡を、これからも多くの人に親しんでいただけるよう、活動を続けていきたいと思えます。



□三邦会

三邦会では毎年演奏会を開催してまいりましたが、写真は平成 30 年に「河童渡来の碑」の曲に三田少年少女合唱団に参加していただいた時のものです。指揮は小中公平氏

□三田歌謡カラオケ協会

三田歌謡カラオケ協会設立
10周年記念
カラオケ発表会

日時：平成28年7月5日(火)
開演11:00(開場10:30)

会場：三田市総合文化センター
郷の音ホール(小ホール)

入場
無料



特別ゲスト 川野夏美(日本クラウン)

受付に設置された募金箱へのご協力をお願いします。
お預かりした募金は、日本赤十字社を通じて東日本大震災被災地へと送られます。

主催 三田歌謡カラオケ協会
後援 三田市・三田市文化協会



第一回設立記念大会(加盟団体の講師・代表者)

三田歌謡カラオケ協会は活動を始めて今年で14年。会員数は約200名です。カラオケ愛好団体ばかりが集まって楽しく活動しております。年2回の発表会と昨年初めて行った親睦会が主な活動です。5年・10周年の記念事業はプロ歌手を招き、プロの歌唱力とステージングを楽しみました。来年は15周年。この周年記念イベントも無事開催できるように、役員・会員一丸となり知恵を出して開催してまいります。

□三田音頭会



昭和55年(1979年)に発足しまして、今年42年目を迎えております。会員数11名で頑張っております。音頭、太鼓、おはやしの2時間の練習時間などは、あっと言うまで、仲間達と賑やかに楽しんでいます。夏には、三田市民祭りをはじめ、各地区の納涼祭などにも参加させて頂き賑やかに楽しんでいます。

＜練習場所＞
郷の音ホール
(練習室1)
第2・第4木曜日
19:00～21:00
(2時間)

茶道裏千家慶友会

茶道裏千家慶友会代表 裏千家教授 島村 宗慶

三田市文化協会発足50周年、まことにおめでとうございます。長きにわたり三田市の文化の発展に寄与されたことに深く敬意を表し、今後の益々のご発展をお祈りいたします。

茶道裏千家慶友会は昨年6月1日、第10回『九鬼茶会』を開催しました。当日は、鵬雲斎大宗匠のご出席をいただき感慨も無量でございました。

これからも三田と裏千家との深い縁を大切に守り続けたいと思っております。なお、一方、けやき台中央公園に於いて、年に二・三度『季節のお茶会』を開催し広く大勢の方々から喜ばれております。

これからも茶道の神髄である『一期一会』の心を大切に、社中一丸となり活動を続けて参ります。

慶友会社中一同



「三田市文化協会50周年を祝って」

三田水墨画同好会 会長 林 靖

当会は、平成元年（1989）南画同好会として芝良空さんと同好の仲間が立ち上げた長い伝統を持つ。令和元年に30周年を記念し、ウッディータウン市民センターギャラリーで独自展示会を開催した。平成11年（1999）に国広節夫さんが継承し、水墨画の色紙描画を学んだ。次いで、平成19年（2007）から若狭若州さんから麦洲流太筆の指導を受けるなど、生涯学習として多様な水墨画の新境地を愉しく学びを続けている。

毎年の三田市市民文化祭展示発表会への出展は会員にとって大きい励みであり、三田市文化事業補助政策の下に、平成25年（2013）から独自団体として個展を開催し、市民文化振興への貢献事業として取り組んでいる。

本年度は、三田市文化協会50周年事業「陳允陸水墨画展・水墨の世界」の事業開催に当たって、協力団体として企画参加した。陳允陸さんの招聘、実行計画に会員総力挙げて協力できたことは極めて有意義であった。

三田市文化協会のますますの発展をお祝い申し上げます。



三田市文化協会50周年記念事業

水墨の郷 - 陳允陸 作品展

2020年9月18日(金)～22日(火祝)

開催：1985年 中級美術学校
1986年 1期生展覧会(三田市市民文化センター)
1990年 三田市民文化センター開館
1997年 三田市民文化センター開館
2000年 三田市民文化センター開館
2001年 三田市民文化センター開館
2002年 三田市民文化センター開館
2003年 三田市民文化センター開館
2004年 三田市民文化センター開館
2005年 三田市民文化センター開館
2006年 三田市民文化センター開館
2007年 三田市民文化センター開館
2008年 三田市民文化センター開館
2009年 三田市民文化センター開館
2010年 三田市民文化センター開館
2011年 三田市民文化センター開館
2012年 三田市民文化センター開館
2013年 三田市民文化センター開館
2014年 三田市民文化センター開館
2015年 三田市民文化センター開館
2016年 三田市民文化センター開館
2017年 三田市民文化センター開館
2018年 三田市民文化センター開館
2019年 三田市民文化センター開館
2020年 三田市民文化センター開館

清涼会「水墨画の世界」
2020年9月20日(日)13:30～15:30 小ホール
三田市市民文化センター
三田市市民文化センター
三田市市民文化センター

三田市民文化センター

三田水墨画同好会

三田市文化協会加入団体

(令和2年4月1日現在)

| NO | 加入団体名 | 部門 | 理事 | 電話番号 |
|----|---------------------------|------|-----------------|---------------|
| | 三田市音楽協会 | 洋楽部門 | 山口 武宏 | 079-565-8451 |
| | | | 内田 史子 | 079-562-4126 |
| 2 | 三田ゆりのきギタークラブ | 音 楽 | 中嶋 新太郎 | 080-4010-4152 |
| 3 | 関口バレエスクール | 洋舞部門 | クラシックバレエ 関口 正人 | 079-565-5611 |
| 4 | 上月みのりバレエスクール | | クラシックバレエ 上月 みのり | 079-590-5710 |
| 5 | F D C フレンドリー | | フォークダンス 喜多 光子 | 079-563-3085 |
| 6 | MIKIOI フラ・サークル | | フラダンス 松永 與志子 | 079-563-2277 |
| 7 | ポーマイカイフラスタジオ | | フラダンス 久徳 麻弥 | 078-955-6428 |
| 8 | 三田吟剣詩舞連盟 | | 吟剣詩舞 足立 紫颯 | 079-559-6279 |
| 9 | 花柳社中 | 邦舞部門 | 日本舞踊 柴田 良子 | 079-563-7241 |
| 10 | 花柳流伊奈輔会 | | 日本舞踊 藤井 加代子 | 079-562-4323 |
| 11 | 千翔流有峰会 | | 日本舞踊 三好 正典 | 090-3825-2154 |
| 12 | 三田舞踊協会 | | 新舞踊 眞造 さえこ | 090-1135-6674 |
| 13 | 三田小唄保存会 | | 踊り 甲斐 幸子 | 090-5099-4372 |
| 14 | 尚美流全日本和装協会(三田) | | 着付け 田口 ひかる | 090-5675-5725 |
| 15 | 御殿踊り保存会 | | 郷土芸能 寛長 つや子 | 079-564-3498 |
| 16 | 三田歌謡カラオケ協会 | | カラオケ 瀧 和子 | 090-6242-5144 |
| 17 | 岡田琴千流大正琴三田ルピナス | | 大正琴 永吉 敦子 | 079-563-6444 |
| 18 | S o l & B r i l l a n t e | | 大正琴 中塚 麻由子 | 078-952-2313 |
| 19 | 三田竹友会 | 邦楽部門 | 尺八 栃尾 敏正 | 090-8759-0265 |
| 20 | 邦楽研究会 | | 箏 浦口 妙子 | 079-564-3732 |
| 21 | 三邦会 | | 箏・三弦・尺八 井上 美紀子 | 079-565-8413 |
| 22 | 三田音頭会 | | 音頭 中村 富美代 | 080-6120-8521 |
| 23 | 民謡あけみ会 | | 民謡 的場 明美 | 079-568-0389 |
| 24 | 三田津軽三味線同好会 | | 三味線 田村 正夫 | 090-3494-4366 |
| 25 | 三田市茶華道協会 | 展示部門 | 抹茶生花 林田 桂子 | 090-3030-4746 |
| 26 | 茶道裏千家慶友会 | | 抹茶 坂本 紗代子 | 079-565-1075 |
| 27 | 三田俳句協会 | | 俳句 木挽 康春 | 079-563-2859 |
| 28 | 三田きりえフォーラム | | 切り絵 畑 徹二 | 079-565-0656 |
| 29 | 三田市美術協会 | | 絵画 高橋 栄子 | 079-562-5184 |
| 30 | 三田水墨画同好会 | | 水墨画 林 靖 | 079-563-1416 |
| 31 | 三田市盆栽会 | | 盆栽 菊山 登 | 079-564-6603 |
| 32 | 和紙ちぎり絵(なごみ) | | ちぎり絵 小林 敏子 | 079-563-7592 |
| 33 | 三田市川柳協会 | | 川柳 九村 義徳 | 079-563-0721 |
| 34 | 三田水彩画会 | | 水彩画 荻野 良成 | 079-562-3818 |
| 35 | 手芸同好会 | | 手芸 下野 松美 | 079-563-3257 |
| 36 | デジタルカメラ散歩の会 | | 写真 保々 俊夫 | 079-565-1073 |
| 37 | アメリカンシャドーボックスアートクラブ | | 立体絵画 江嶋 桂子 | 079-565-1971 |

令和2年度三田市文化協会組織名簿

| | 担当氏名 | 団体名 |
|---------|-----------|-----------|
| 常任理事 | 会長 山口 武宏 | 三田市音楽協会 |
| | 副会長 林 靖 | 三田水墨画同好会 |
| | 副会長 足立 紫颯 | 三田吟剣詩舞連盟 |
| | 副会長 柴田 良子 | 花柳社中 |
| | 事務局長的場 明美 | 民謡あけみ会 |
| | 会計 眞造 さえこ | 三田舞踊協会 |
| | 監査 関口 正人 | 関口バレエスクール |
| 監査 菊山 登 | 三田市盆栽会 | |

| | 氏名 | 団体名 |
|-------|---------------------|---------------|
| 常任理事 | 内田 史子 | 三田市音楽協会 |
| | 松永 與志子 | MIKIOIフラ・サークル |
| | 瀧 和子 | 三田歌謡カラオケ協会 |
| | 田村 正夫 | 三田津軽三味線同好会 |
| | 九村 義徳 | 三田市川柳協会 |
| | 小林 敏子 | 和紙ちぎり絵(なごみ) |
| | 保々 俊夫 | デジタルカメラ散歩の会 |
| 江嶋 桂子 | アメリカンシャドーボックスアートクラブ | |

歴代会長・副会長

| 年代 | 会 長 | 副 会 長 | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 平成14年 | 西田 保 | 柴田 良子 | 東田 るい | 亀井 幸甫 |
| 平成15年 | 西田 保 | 柴田 良子 | 東田 るい | 亀井 幸甫 |
| 平成16年 | 西田 保 | 堺 好昭 | 三好 正典 | 若森 京子 |
| 平成17年 | 西田 保 | 堺 好昭 | 三好 正典 | 若森 京子 |
| 平成18年 | 西田 保 | 三田村加津子 | 三好 正典 | 若森 京子 |
| 平成19年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | |
| 平成20年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | |
| 平成21年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | |
| 平成22年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | |
| 平成23年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | 林 靖 |
| 平成24年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | 林 靖 |
| 平成25年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | 林 靖 |
| 平成26年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | 林 靖 |
| 平成27年 | 三好 正典 | 若森 京子 | 山口 武宏 | 林 靖 |
| 平成28年 | 三好 正典 | 山口 武宏 | 林 靖 | 足立 紫颯 |
| 平成29年 | 三好 正典 | 山口 武宏 | 林 靖 | 足立 紫颯 |
| 平成30年 | 三好 正典 | 山口 武宏 | 林 靖 | 足立 紫颯 |
| 令和 1年 | 山口 武宏 | 林 靖 | 足立 紫颯 | 柴田 良子 |
| 令和 2年 | 山口 武宏 | 林 靖 | 足立 紫颯 | 柴田 良子 |

注) 昭和45年～平成13年の名簿は「30年誌」に掲載

三田市文化協会ロゴ・マーク紹介



三田市文化協会をイメージしたデザインとしました。

濃い緑色の部分が三田市文化協会の頭文字「S」と無限大を表現しておりシンプルで親しみやすいロゴマークだと思います。

三田市文化協会のみならず三田市民に愛されるロゴマークとなって末永く使用して頂くことを切望しています。

提案者： 北九州市 中本竹織（なかもと たけし）

文化協会40周年（平成22年）を記念して、協会ロゴ・マークを募集したところ21作品が集まり、総会で出席者全員に投票して貰い、福岡県北九州市の中本竹識氏に決定したものです。

三田市文化協会創立50周年
会報紙「湧」記念特別号
令和2年9月発行

編集 会報編集委員会

発行 三田市文化協会

〒669-1533 三田市駅前町2番1号キッピーモール6F（事務所）

TEL & FAX 079-559-0404

ホームページ 三田市文化協会 E-mail s-bunka0404@clear.ocn.ne.jp